

ダイヤクラフト、県誘致企業に

プラスチック用金型製造の業績拡大を目指す。

ダイヤクラフト（東京都）が横手市雄物川町の秋田工場に本社機能を移すことになり、30日に県の誘致企業に認定された。移転は8月を予定しており、従業員は10人ほど増えて49人となる見込み。3～5年後をめどに、地元採用を中心に58人に増やす考えだ。

同社は、車の電装部品や医療機器、スマートフォンなどの分野に対応するプラスチック製品の金型製作、成形加工、試作品製造を手がける。東北に車向け大型金型の取引先が多く、秋田工場に機能を集約して長期的な人材の雇用、育成を図ることで事業効率化、

業績拡大を目指す。1989年に東京都で創業し、93年に旧雄物川町に進出し、インドとタイにも生産拠点を持つ。秋田工場は鉄筋一部2階建てで、延べ床面積1911平方メートル。本社機能移転に伴い、約3千万円を投じて改築工事を行っている。4月に着工し、8月上旬に完工の見通し。

横手市役所で30日に行われた認定書交付式には、親会社のダイヤモンドエレクトロニクスホールディングス（大阪市）の小野有理社長が出席。「地元の高卒採用を進める。横手市の皆さまとスクラムを組み、世界にあるグループ会社



誘致企業認定書を手にする小野社長

工場の中でも、ものづくりの根幹企業として磨き上げていく」と述べた。

ダイヤクラフトは資本金1千万円、社員61人。

（藤田向）